

詠む広場

毎日俳壇

井上 康明 選

片山由美子 選

小川 軽舟 選

西村 和子 選

引く波のちから勝れる九月かな

下松市 九内 千沙

△評▽陰暦8月15日の大潮が近く、引き潮も力強い。澄んだ大気の9月、季節の推移をダイナミックに詠んでいる。

敬老日一人唄へば皆唄ふ

奈良市 上田 秋霜

△評▽ひとりの歌声に、そこに集う人々の歌声が重なる。敬老の日の健やかな姿である。

誇らしき肌の輝き勝相撲

札幌市 岡崎 実

滂沱たる露に遍し日の光

唐津市 梶山 守

野の風に野の草心へ秋めきぬ

甲斐市 松田 健嗣

台風過したたるやうな虹あふぐ

相模原市 小山 鞠子

尖塔の十字架よぎる天の川

鎌倉市 前川 卓

夏よもぎ六角精児の太き声

鹿嶋市 津田 正義

豊かなる重みありけりラフランス

尾張旭市 小野 薫

霽して月光に輝る鴈の聲

名古屋市 可知 豊親

一日がたちまち終る運動会

越谷市 新井高四郎

△評▽いろいろなプログラムがどんどん進み、見ているほうも忙しい。1年に1度の特別な日の感慨が伝わってくる。

靴音にひたと止みたる鉦叩

東京 徳原 伸吉

△評▽鳴くともいえないようなチンチンという規則的な音。「ひたと止みたる」に実感がある。

仕立屋に布地のほひ秋の昼

さいたま市 根岸 青子

木を見れば登りたがる子天高し

磐田市 大石 志づ

日陰れば紅さしはしむ酔芙蓉

大阪市 福永 都女

滝音の聞こえて遠し山の径

那須塩原市 谷口 弘

残る蚊や叩くことなくやり過ぐす

瑞浪市 岩島 宗則

いつ見ても盛りと思ふ鶏頭花

和歌山市 宮本 啓子

曼珠沙華骨を拾ふに作法あり

鹿児島市 平川 玲子

自転車の子の後を行く秋の暮

小田原市 林 梢

石垣を揺らす水面や柳散る

柏市 小畑 昌司

△評▽堀端だろうか。水面に映る石垣の影が揺れている。「柳散る」をあっせんして秋らしく絵になる風景になった。

蛸や心の中の遠灯り

大津市 横川 和醒

△評▽夕暮れのヒグラシの声はさびしさをかきたてる。心の中の風景にもその声が響く。

新蕎麦や山まちなかなる宿場町

帯広市 伊谷 百智

歯ブラシを棚に戻せば小鳥来る

盛岡市 福田 栄紀

早朝の寺町通り風の秋

盛岡市 舟山 治男

男郎花父は昔を語るさる

東京 山口 治子

食卓に本の散らばる夜長かな

大野城市 野分 のわ

地蔵盆草の匂へる径をゆく

羽生市 岡村 実

帰り待つ母の肉じやが草の花

横浜市 鈴木 貞雄

月光に導かれたり蟬の羽化

東大阪市 日下純比古

秋暑しまとひしものがへばりつき

加古川市 中村 立身

△評▽秋になっても猛暑が続いた今年だが、夏の暑さとは異なるやりきれない暑さが肌感覚に伝わってくる作品。

長き夜や研究棟に影ふたつ

宮崎市 境 雅子

△評▽秋の夜ふけ、その窓だけ明かりが消えない。研究者ふたりに読み手の心も寄り添う。

廃寺止むなしと老僧扇置く

志木市 谷村 康志

四散して戻る一樹や稲妻

千葉市 畠山さとし

田廻りの風生ぬるき厄日かな

長浜市 中島 正則

澄み切らぬうちに再び秋出水

和歌山 神野 一馬

赤蜻蛉には見えてある風の道

甲府市 村田 一広

瓜坊や村民だけが通る道

大栗市 宗平 圭司

貝だくさんの母の太巻秋祭

東久留米市 矢作 輝

朝顔や直ぐに乾きし濯ぎ物

川口市 高橋さだ子

アプリで

推し短歌

アプリ「57577」の投稿からユーザー人気をふまえて歌人の天野慶さんが選歌と評を担当します。アプリは右のQRコードまたは<https://tanka.one/>からダウンロードできます。



短歌アプリ

57577

お題「赤」

「赤なのに進む」じゃなくて「青なのに止まる」そういう無視をしてきた 放棄未完 一読して「あれ？」と思い、もう一度読み直しました。だめ、とはっきり言えない。でも「進んでいいよ」って言われても立ち止まり、じっと信号を見つめる視線は、ただの反抗的な「無視」ではなく、自分のタイミングで動くんだった、という強い「意思」を感じました。

・レシートに赤線が入るみたいに恋の終わりを予感していた ネムリカーテン 「そろそろ交換しないといけません」というレシートのお知らせ。あの赤い線が出てきてはすぐになくなってしまふのではなく、しばらくは使えます。近い未来に終わりが来るのは変えられないけれど、そのための準備はできる。2句目3句目の句またがりに勢いがあります。

・ふんわりとした子が好みと言われた日レジスタンスのようなルージュを 亜麻布みゆ 唇にひかれた鮮やかな「赤」が強く印象に残る一首です。ピンクベージュのリップを塗るナチュラルメイクの「ゆるふわ」女子になるなんて簡単。だけど、私は私のままで、赤い旗掲げてあなたの心に革命を起こす。ルージュに託された思いが届きますように。

〓次回のお題「風」(11月11日掲載)

